

(研修会のご案内)

中小水力発電技術に関する実務研修会

(平成27年度第1回目)

当財団では、中小水力発電開発促進事業の一環として、水力発電実務担当者(技術者)を対象とした研修会を企画実施しております。

この度、本年度第1回目(通算第104回目)の研修会を下記要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

関係各位多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 平成27年7月 9日(木) 10:35~16:50
10日(金) 9:15~14:50

2. 場 所 三会堂ビル(9階 石垣記念ホール)
〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号
電話 03-3582-7451

(案内図参照)

お申し込み、お問合せ先

〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目13番2号

一般財団法人 新エネルギー財団 水力地熱本部

電話 03-6810-0364

FAX 03-3982-5101

E-mail hydroes@nef.or.jp

担 当：鈴木妙子、鈴木泰世

3. 研修概要

・主テーマ：水力発電所の計画及び建設

・開催日：平成27年7月9日(木)～平成27年7月10日(金)

日	時間	テーマ (仮)	主な内容
9日	10:35～	開会 (一財)新エネルギー財団	—
	10:45 ～ 11:45	①再生可能エネルギー固定価格買取制度の動向について 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課 課長補佐 大坪 祐紀	平成24年7月に制度が開始され、3年を経過する再生可能エネルギー固定価格買取制度の最新動向を紹介する。 1.再生可能エネルギー固定価格買取制度の動向 2.再生可能エネルギー開発の動向 3.水力発電開発の動向
	13:00 ～ 14:00	②農業水利施設を活用した小水力発電の推進について 農林水産省 農村振興局 整備部 水資源課 課長補佐 北川 剛	農業水利施設の未利用エネルギーの活用を図る小水力発電は、持続可能なエネルギー供給に寄与するとともに農業水利施設の適切な維持管理を図るうえで重要である。各種施策及び整備状況を紹介する。 1.小水力等再生可能エネルギーを導入推進するための各種施策 2.小水力発電の整備状況
	14:15 ～ 15:25	③富山県入善町小摺戸(こすりど)地点における小水力発電について ～小摺戸発電所の建設概要～ 富山県 企業局 電気課 副主幹・土木管理係長 山田 邦彦 企画開発係主任 砂山 辰彦	富山県企業局小摺戸発電所は、黒部川右岸側の「黒東合口用水」の未利用落差を活用した出力370kWの小水力発電所である。この発電所は、経済産業省の「小水力発電導入促進モデル事業」の採択を受け、施設整備費や維持管理費の削減を図ることのできる、簡易な遠隔監視制御システムによる取水口管理や故障時対応ガイダンスシステムなどの新たな技術開発に取り組んでいる。今回、発電所の建設概要及びこれら新たな技術開発の取組みについて紹介する。
10日	15:40 ～ 16:50	④未利用水力エネルギーを活用した小水力発電所の開発について 三峰川電力株式会社 三峰川発電事業所 所長 西村 隆一	中小水力発電で積極的な事業展開をしている三峰川電力(株)は、今までに遊休落差を利用した発電所新規建設や、既存老朽発電所の改修によるエネルギー利用効率の向上などを実施しており、合計出力は約3万5000kWに達する。 長野県にある農業用水を利用した蓼科及び蓼科第2発電所、山梨県北杜市の地域新エネルギービジョンのもと官民パートナーシップを結び、同一農業用水路に複数の小水力発電所を設置した北杜3発電所など、小水力発電所の開発事例を紹介する。
	9:15 ～ 10:40	⑤胆沢第一発電所の計画、設計及び工事の概要について 電源開発株式会社 土木建築部 土木技術室 課長 斎藤 大信 水力発電部 水力電気室 佐藤 良祐	電源開発(株)胆沢第一発電所は、国土交通省の胆沢ダムに発電参加したもので、同ダムの建設によって水没する旧胆沢第一発電所に替わる発電所である。設備利用率の最適化を図るため大小2台の水車・発電機を設置しており、最大出力は14,200kWである。 本発電所は、同ダムの河川維持放流を利用した岩手県企業局の胆沢第三発電所(出力1,500kW)と共に建設され、発電所建屋、水圧鉄管、屋外開閉所、送電線等を共有している。発電所の計画、土木・電気設備の設計や工事の概要を紹介する。
	10:55 ～ 12:20	⑥既設設備を有効活用した水力発電所の建設について～新黒礁第二発電所～ 関西電力株式会社 土木建築室 計画グループ マネジャー 新井 公造 土木建築エンジニアリングセンター 海外土木グループ 寺川 勝大	関西電力(株)新黒礁第二発電所は、黒部川水系黒礁川において、現在運転中の黒礁第二発電所の設備を有効活用して、既設発電所に隣接して建設したもので、取水量1.7m ³ /s、有効落差142m、最大出力1,900kWの発電所である。 本発電所の計画、設計及び施工の中で、導水路トンネルの拡幅や水圧鉄管の分岐等の既設利用ならではの特色のある工事を主体に紹介する。
	13:20 ～ 14:45	⑦「中小水力発電流量資料整備の手引き」の作成について 一般財団法人 新エネルギー財団 水力地熱本部 水力国際・技術部 主任 濱本 良太	発電計画や設計に必要な流量資料を整備するには、時間と費用がかかり課題となっている。 本手引きは、新エネルギー財団が経済産業省からの受託により、最近の知見・技術動向を踏まえ調査・検討した結果をもとに既存の文献等の内容を部分的に見直すことを含め合理的な流量資料の整備方法を示したものである。流量資料整備期間、流量測定方法、流量算定方法及び至近年の小水力発電計画における流量資料整備事例について紹介する。
～14:50	閉会 (一財)新エネルギー財団	—	

・テーマ、内容等が変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

4. 定 員 140名程度 (申込先着順)

5. 参加費 (ご1名につき) 賛助会員 28,000円、 一 般 32,000円

6. 申込方法等

- (1) 本ページをコピーし下記申込書に必要事項をご記入の上、最初のページの申込先 ((一財)新エネルギー財団 水力地熱本部) にファックスするか、申込用紙をダウンロードしご記入の上、メールをお送り下さい。なお、ファックス申込の場合は必ず申込先担当者に電話での確認連絡を、メール申込の場合は受付返信メールの確認をお願いします。受付返信メールが届かない場合はご連絡下さい。
- (2) お申込者数が定員に達しますと、受付を締め切らせて頂きます。あらかじめご了承ください。なお、その際は、当財団からご連絡いたします。
- (3) お申込受付後、請求書を郵送させて頂きます。参加費は、請求書記載の金融機関へお振り込み下さい。
- (4) お申込受付後にキャンセルまたは受講者変更となる場合は至急ご連絡下さい。キャンセルのご連絡を頂いた方には、テキスト代、テキスト送料、振込み手数料等を頂く場合がございます。研修会当日にご連絡なく欠席された方には、受講料全額を頂く場合がございます。
- (5) 一つのお申込の中で、初日と2日目で受講者が変わる場合は、受付に申し出下さい。テキストをお預かりすることもできます。なお、この場合の申込書受講者名は初日に来られる方のお名前をご記入下さい。

7. 申込期限 平成27年6月25日 (木)

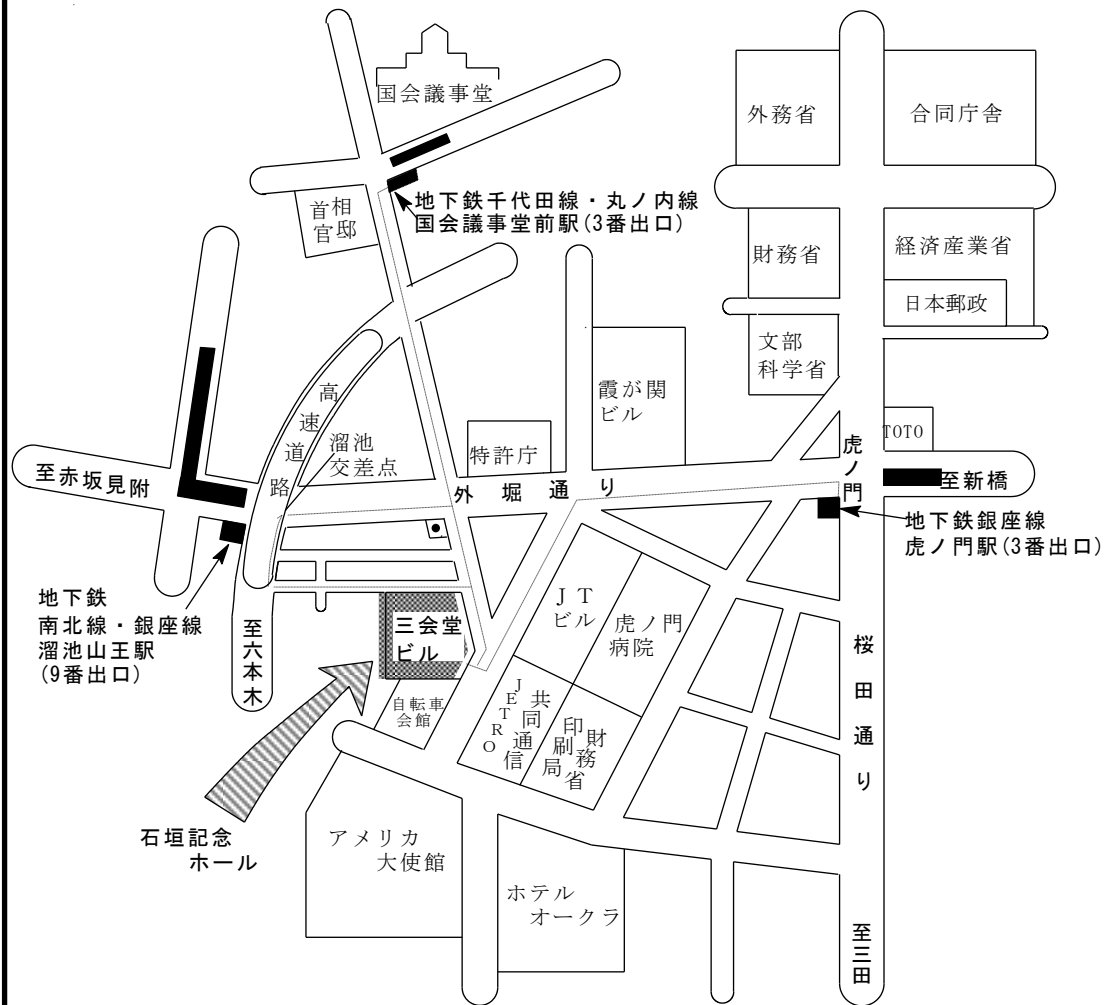
平成27年度 第1回中小水力発電技術に関する実務研修会 申込書			
会員区分	ご住所 〒 -		
<input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 一 般			
団体名・企業名・ご所属部署名			
TEL ()			
ご参加者氏名	ご所属部課名	職 種	合 計
1			_____ 名
2			
3			_____ 円
(請求書の宛名及び送付先) ・宛 名 : ・送付先 :			受付番号 (財団利用欄)

- ・「職種」欄には、土木・電気・機械等の職種をご記入下さい。
- ・「請求書の宛名及び送付先」欄は、請求書に記載する宛名と請求書の送り先をご記入下さい。

三会堂ビル(石垣記念ホール)案内図

東京都港区赤坂1丁目9番13号三会堂ビル9階

03-3582-7451(代)



●交通ご案内

- J R 新橋駅下車タクシー7分
- 地下鉄 南北線・銀座線溜池山王駅下車(9番出口)徒歩4分
- 地下鉄 銀座線虎ノ門駅下車(3番出口)徒歩5分
- 地下鉄 千代田線・丸ノ内線国会議事堂前駅下車(3番出口)徒歩7分

羽田空港より

羽田空港 $\xrightarrow[21分]{\text{東京モノレール}}$ 浜松町 $\xrightarrow[2分]{\text{山手線内回り}}$ 新橋 $\xrightarrow[2分]{\text{営団銀座線}}$ 虎ノ門